



さいと

第109号

令和4年8月1日発行

# 市議会だより

## 整備された稚児ヶ池地区公園

西都市に新たな憩いの場所ができました。  
長千代丸の逸話や記紀の道など、この機会に伝説や神話に触れてみませんか。

### 長千代丸と稚児ヶ池

Chochiyomaru and Chigo ga ke

室町時代、徳北城主は当時「鶴の池」  
るために池を築きましたが、豊臣の  
二ニギノ尊が釣りしていた伝説が  
できていました。そこには、大蛇  
り、堤を築いたことで大蛇の  
ある日、村人達は人柱を立  
ます。そこに伝説長千代丸  
ここを後黄の着物に舞  
言い去り、翌朝その着  
(1428年)2月27日  
法華経」と評世の  
村人達は長千  
「稚児ヶ池

### ●5月臨時会の概要●

令和4年第3回臨時会は5月18日に招集。1日の会期で、市長提出議案1件について審議を行いました。採決の結果、原案可決としました。

### ●6月定例会の概要●

令和4年第4回定例会は6月6日に招集。6月23日までの会期で、市長提出議案7件、議員提出議案1件、報告案件4件、請願1件について審議を行いました。採決の結果、市長提出議案はいずれも原案可決(うち1件は同意)、議員提出議案についても原案可決、また請願1件についても採択としました。

### 主な掲載内容

- ◎一般質問・・・P2~5
- ◎議案審議結果(臨時会)・・・P5
- ◎委員会審査概要・・・P6
- ◎議案審議結果(定例会)・・・P7
- ◎議会Q & A・・・P8

西都市議会  
ホームページ

ホームページ  
はこちらから↓



西都市議会

検索

マチイロ

ダウンロードは  
こちらから↓



さいと市議会だよりを  
アプリで配信中!

市民目線の行政のあり方について

葵の会 田爪 淑子



動画はこちらから↓



**問①** 市の広報について、現在の取り組み方法を伺いたい。また多くの方について、市内で教室が開かれ好評だと聞いているが、その事を知っておられるか伺いたい。

**答** 市の広報は、月一回発行の「広報さいと」、月二回発行の「お知らせ」がある。そのほか、市ホームページ、フェイスブック、LINEなどの公式SNSを活用している。スマートフォン使用については、穂北地区館で「スマホ教室」が行われていると聞いている。

**問②** 危機管理対策の在り方として、危機管理課へ女性職員の配置はされているか伺いたい。

**答** 現在女性職員の配置はされていないが、女性の視点を取り込んだ防災対策を進めるとともに、避難所開設の場合は女性に配慮した運営を行うよう努めたい。

**問③** 高齢者に配慮したごみの分別

に取り組んでいるか伺いたい。また、ごみの分別品目数が多く、高齢者には分別が難しいとの声を聞くが、リサイクルに取り組む事で、資源として社会に還元され、地域社会へ貢献する事にもつながるなどの広報をするつもりはないか伺いたい。

**答** 特に高齢者へ配慮した分別への取り組みは行っていない。リサイクルに取り組む効果、資源として活用される事については、今後、分かりやすい表現で周知する取り組みを進めていきたい。

**問④** 西都児湯医療センターの中期計画が作られる手順について伺いたい。

**答** 中期計画は医療センターで作成された後、市へ提出され内容について評価委員会に諮問し、委員会へ出された意見を参考にして議会へ上程される。

**問⑤** 医療センター令和3年度の決算内容については、いつ頃を目標に議会へ提出される予定か伺いたい。

**答** 事業年度終了後3月以内に設立団体の長へ提出し、承認を受けなければならぬと定められているので、6月末までには市へ提出されると考える。

安心して生活できる環境整備と農林業の振興について

新風創生会 米良 弥



動画はこちらから↓



**問①** 住み慣れた地域で安心して生活していくためには、生活環境や福祉、防災などの地域活動を支える公民館や区長などによる共助の働きが重要であるが、現状と課題、対策について伺いたい。

**答** 多くの地域活動組織で、高齢化・人口減少により役員等の担い手不足や活動への参加者減少が顕著となってきたおり、若い世代の活動への参加促進、担い手不足解消が課題となっている。このため、庁内で組織的に検討を行っているが、具体的な対策までは行きついていない。

**問②** 交通弱者や通勤通学にとって重要である市内外を結ぶ路線バスやコミュニティバスの今後の取り組み方針について伺いたい。

**答** 市外と結ぶ地域間幹線路線バス等についてはできるだけ維持する方向で検討していく。市内の路線バスやコミュニティバスについては新たな移動手段も含めて「地域公共交通計画」の策定を行う中で検討していく。

**問③** 燃油や生産資材等の価格高騰で農業経営環境は厳しくなっているが、現状と対策について伺いたい。

**答** 重油が2割以上、肥料・飼料などが1割以上の値上げとなっている。このため、施設園芸サーバーネット構築事業への加入促進、省エネ、省力化・ITC化促進のための支援事業を実施するとともに国・県の対策も活用していく。

**問④** 本市の豊富な農林業資源を活用した地域循環型のバイオマス産業都市構想について伺いたい。

**答** 農林業の活性化、産業の振興と雇用の創出、環境負荷軽減を目指した地域循環型の「バイオマス産業都市構想」を来年8月までに策定し、12月に国に申請して、計画的に推進していく。

**問⑤** 西都児湯医療センターの運営に必要不可欠な協力者である宮崎大学医学部や西都西児湯医師会の理事長解任処分に伴う不信感の解消に向けた具体的な行動について伺いたい。

**答** 宮崎大学医学部をはじめ複数の関係者とは会っているが、信頼回復のための具体的な行動については言える段階にない。

連携・協力による医療センターの運営を

日本共産党 狩野 保夫



動画はこちらから↓



**問①** 理事長に対する「解任通知」を撤回し連携・協力による医療センターの運営を市民皆さんも願っておられる。見解は。

**答** 解任の撤回は考えていない。

**問②** 選挙公約である脳神経外科医の復帰について

**イ** 濱砂亮一先生の復帰の見通しは。

**答** 復帰について可能性を感じているが明確な時期は答えられない。

**ロ** 「私が当選したら必ず戻ってきた」と訴えられたことは選挙公約ではないのか。

**答** 発言はしたが公約として言った覚えはない。

**問③** 新型コロナウイルス対策について

**イ** 感染の現状に対する見解は。

**答** 感染状況は落ち着きつつあるが、夏休み中の人流増加に伴う感染者数の増加を危惧している。

**ロ** ワクチン接種の現状と課題は。

**答** 接種率が低い12歳から49歳の若年層を中心とした接種率の向上が課題となっている。

**ハ** 県知事が示した「基本的な感染防止対策を継続しながら、社会経済活動の回復に向けて取り組みたい」との方針に対する見解は。

**答** 社会経済活動を回復させるため行動制限の緩和は必要な対応であると考えている。

**問④** 物価高騰による市民への影響と対策は。

**答** 消費者物価指数からも市民生活及びその家計に大きな影響を与えていると考えている。支援対策としては、施設園芸省エネルギー設備導入等への補助事業、プレミアム付商品券発行事業、子育て世帯等への支援事業に取り組みたい。

**問⑤** 水田活用の直接支払交付金の見直しに対する見解は。

**答** 国の減反政策に協力してきた農業者に大きな影響を及ぼすことから容認できるものではない。

**問⑥** 消費税インボイス（適格請求書）制度に対する見解は。

**答** 適正な課税確保のために導入される制度であると認識している。

**問⑦** 中学校再編に合わせた制服の見直しに対する見解は。

**答** 完全に自由選択制とするのか、私服を取り入れるのか等、生徒や保護者の意向や校則との関連も含め様々に検討を重ねたい。

葵の会 森 祐子



動画はこちらから↓



**問①** 市議会議員の役割と今後の期待について伺う。

**答** 市民の声を届け、首長とともに市政を牽引する役割。よりよい西都市の実現に向けて共に取り組ませていただきたい。

**問②** 投票を促す取り組みについて現状について伺う。

**答** 中学校・高校への選挙の出前授業の実施。小学校の新庁舎見学の際に主催者教育を実施。

**ロ** 市政に興味や関心を持っていただくため広報やSNSの更なる周知を依頼。

**答** 更なる活用を推進していく。

**問③** 移住支援金事業を利用する要件について伺う。

**答** 国の他に県、さらに市独自の支援金もあり、手厚い支援が行われている。

**問④** 若者の流出対策について

**イ** 企業と就職希望者を繋ぐ取り組みはあるのか伺う。

**答** 現状は就職支援エリアコーディネーターを配置し高校と企業をつなぐ取り組みを実施中。

人口流出対策と財源確保について

**ロ** 企業誘致を見据えた人材育成の取り組みを伺う。

**答** 高校との連携とリモートアカデミーの実施を行っている。

**ハ** 宮崎県立産業技術専門校のように人材を地元で育成し地元の雇用にもつなげるのが一番理想的、誘致企業としてもニーズがある情報サービス関係の科の新設を県に働きかけることはできないか。また市独自の人材育成事業に学校跡地を活用できないか等、今後考慮いただきたい。

**答** 提案については、今後前向きに検討していく。

**ニ** 地元に残る若者へ、スキルアップの機会や何らかの優遇措置は考えられないか伺う。

**答** 現状は考えていない。まずは企業立地、西都市民の雇用推進、農林業就農に取り組んでいく。

**問⑤** ふるさと納税の増額に向けて

**イ** 他自治体で参考になっている取り組みについて伺う。

**答** 参考にしていないところは無い。

**ロ** 増額に向けた今後の取り組みを伺う。

**答** 返礼品の拡充と開発支援、提供体制の安定化に努める。

農業振興、観光振興、医療センターについて

新緑会 岩切 一夫



動画はこちらから↓



**問①** 農業振興についてのうち燃油高騰対策について、産地生産基盤パワーアップ事業に新たに「施設エネルギー転換枠」が設けられたが、今後、市としてどのような事業を展開されていかれるのか伺う。

**答** 今回、地方創生臨時交付金を活用して施設園芸の省エネ設備導入に対する緊急支援事業を予算化したところである。

**問②** 観光振興について

**イ** 西都市の花である高取山のミツバツジがこのままの管理をしていたら群生地がなくなるのではと危惧しており、市が何らかの対策をするべきだと思うがどう考えておられるのか伺う。

**答** 枯れ木が目立ち、樹勢が弱ってきているのは認識している。対策として造園会社に高取山全体の分布調査をはじめ管理計画や、新植による更新計画を依頼して美しい景観を守るため、管理を徹底する。

**ロ** ここ数年前から春田バイパスの法面に「ツクシイバラ」に似た花が咲いている。西都市の有力な観光資源は



(写真:ツクシイバラ)

花だと思うが、この「ツクシイバラ」に似た花も本市の観光資源にならないか伺う。

**答** 本市の有力な観光資源は花であるので、今後観光コンテンツとして活用できるか研究する。

**問③** 医療センターについて

**イ** 市外への救急搬送39%から令和2年が46%、令和3年が56%と年々増加している。令和3年には医療センターだけではなく市内の医療機関も受け入れが減少しているが原因は何か伺う。

**答** 受け入れ件数の減少理由は分からないが、処置困難、医師不在、他患者対応中などが考えられる。

**ロ** 令和元年から令和3年の医療センターへの脳疾患の患者の救急搬送を伺う。

**答** 令和元年が103件、令和2年が56件、令和3年が32件である。

第五次西都市総合計画、指定難病、乳がん検診について

公明党 浦田 明子



動画はこちらから↓



**問①** 重点施策③「若い世代の結婚・出産・子育ての夢をかなえる」とあるが、市では、具体的な取組み、目標があるのか伺う。

**答** 結婚については、宮崎結婚サポートセンターと連携して、結婚を希望する方への個別に出会いを支援している。出産・育児については、子育て包括支援センター設置、放課後児童クラブ、長時間保育などの支援事業の充実に取り組んでいる。

**問②** 出産の部分で市には、低体重児は何人くらいなのか、リトルベビーハンドブック導入について伺う。

**答** 低体重児の届出は、16名、本市でもハンドブックは県で作成されたら、活用していく。

**イ** 結婚の部分の提案として、西都市在住の新婚者に、新築住宅補助金支援を要望する。若者たちの、定住促進にもつながるのではないかと思いい、今後進捗状況を伺っていく。

**問③** 指定難病、網膜色素変性症の暗所支援眼鏡補助金について伺う。

**答** 本市には、12名の受給者証をお持ちの方がおられるが、支援眼鏡の

助成できる様に、検討を図る。

**問④** 乳がん検診の現状と取組みを伺う。

**答** 本市では、国の方針は、検診を40歳以上のところ、30歳以上に引き上げ早い段階で、乳がん検診を実施しているが受診率は、令和3年で10・8%と低く受診率の向上が課題である。乳がんになられた方のサポートとしては、医療機関等が設定する相談機関を紹介し、日曜、夜間の集団検診実施を医療機関へ委託して検診を受けやすい、環境作りを努めていく。

**イ** 他市町村では、セルフチェックシートの取組みがあるだが、市でも、早期発見の為、検診率向上の為に、セルフチェックシートを提案する。

**答** 今後、他市町村の取組みも参考に周知を図っていく。



(写真:乳がんセルフチェックシート)  
出典:お風呂で乳がん Check!~乳がんの自己触診法~(東京法規出版)

西都児湯救急医療、街中活性化、教育問題について

新緑会 橋口 登志郎



動画はこちらから↓



**問①** 西都児湯は高度急性期病床がゼロ、さらに脳血管手術ができない現状について見解を伺う。

**答** 中期目標に定める脳卒中等の緊急性の高い脳疾患や内科疾患の提供を行う事、災害拠点病院機能を整備する事がセンターの機能の向上が図られ、西都児湯住民の命を守る事となると考える。

**問②** 急性期疾患や災害に対応できる新病院への市長の見解を伺う。

**答** 安定的な経営を目指す事が重要で、市民の安心安全と常勤医師の確保という思いから、できるだけ早い時期に建設すべきと考える。

**問③** 街中活性化と文化はどう関連性があると思われるか伺う。

**答** 文化の振興によって街中が市民のサードプレイスといわれる場所となれば、賑わいが創出され、街中活性化に寄与すると考える。

**問④** 「夢たまご」への見解を伺う。

**答** 美術館のない本市にとって、創作活動の発表する場所、市民が鑑賞す

る場所、文化の意見交換、市民の憩いの場所であり、市外からも多くの人々が訪れ、活性化に寄与する重要な施設である。意見を聞き必要な支援をしていきたい。

**問⑤** 教育としての「夢たまご」の役割について教育長の見解を伺う。

**答** 文化は喜びや達成感、自己肯定感を得ることができ、子供たちの発表の場としても「夢たまご」は学校教育や社会教育の立場から非常に有益な施設であると考える。

**問⑥** まちづくり会社について設立目的、担う役目について伺う。

**答** 次世代を担う人材育成、経済の活性化、明るく豊かな西都未来創生を目的に、官民連携で設立された。民間のノウハウとスピード感での地方創生に期待している。

**問⑦** 中学再編による効果を伺う。

**答** 生徒数や教職員数が増えることにより、多様なものの見方、考え方、表現の仕方に接することができ、社会性、協調性、向上性が育まれ、学力の保障につながる。

**問⑧** 部活動の地域移行を伺う。

**答** 解決すべき課題が山積している、しかし持続可能な部活動の在り方を研究することは意義があり、教職員員の働き方改革も進める事となる。本市にとってふさわしい方式を検討していきたい。

■第3回臨時会(5月18日)の概要

5月臨時会の映像はこちら→



| 番号   | 議案名・概要   | 審議結果     |      |
|------|--|----------|------|
| 第53号 | 地方独立行政法人西都児湯医療センター第3期中期目標を定めることについて<br>(地方独立法人法の規定により、地方独立行政法人西都児湯医療センターの中期目標を定めようとするもの) | 原案<br>可決 | 賛成多数 |

緊急質問

議案の審査に先立ち、米良弥議員から「市長の医療行政に対する基本姿勢について」の緊急質問が行われました。

審議経過

文教厚生委員会

地域医療対策室から説明を求め、種々質疑の後、ある委員より原案に対する修正案が提出されました。その後、修正案に対する賛成討論、原案に対する反対討論がなされ、修正案について採決を行った結果、可否同数となり、委員会条例第17条の規定に基づき、委員長の決するところにより、否決されました。その後、原案について採決を行った結果、可否同数となり、委員長の決するところにより、可決されました。

本会議

文教厚生委員長報告の後、米良弥議員ほか3名から原案に対する修正案が提出されました。原案に対する反対・賛成討論、修正案に対する賛成討論がなされ、修正案について採決を行った結果、賛成少数で否決されました。その後、原案について採決を行った結果、賛成多数で可決されました。

賛否の分かれた議案等の表決一覧

| 番号   | 件名  | 議員名(左から議席番号順) |     |      |      |      |     |       |      |      |      |      |      |      | 審議結果 |      |      |
|------|---|---------------|-----|------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|      |   | 太田寛文          | 森祐子 | 杵崎秀光 | 浦田明子 | 村上修乗 | 米良弥 | 橋口登志郎 | 田爪淑子 | 荒川敏満 | 黒木吉彦 | 中武邦美 | 井上 司 | 井上久昭 |      | 狩野保夫 | 岩切一夫 |
| -    | 議案第53号地方独立行政法人西都児湯医療センター第3期中期目標を定めることについてに対する修正動議 |               | ●   | ●    | ●    | ○    | ○   | ●     | ●    | ●    | ○    | ○    | ●    | ●    | ○    | ●    | 否決   |
| 第53号 | 地方独立行政法人西都児湯医療センター第3期中期目標を定めることについて               |               | ○   | ○    | ○    | ●    | ●   | ○     | ○    | ○    | ●    | ●    | ○    | ○    | ●    | ○    | 原案可決 |

議長のため表決に参加しない  
○：賛成 ●：反対



### 総務委員会審査概要

定例会において総務委員会に付託されました議案2件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

**議案第56号 令和4年度西都市一般会計予算補正(第4号)**について本委員会に付託をされた部分については、歳入については、地方交付税などが計上され、歳出については、総務費に備品購入費などの予算が計上され、本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第60号 令和4年度西都市一般会計予算補正(第5号)について本委員会に付託をされた部分についてであります。歳入については、地方交付税などが計上されております。本案につきましては、種々質疑の後、別段異議なく、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 文教厚生委員会審査概要

定例会において文教厚生委員会に付託されました議案4件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

#### 採決結果

#### 議案第57号

反対討論がなされ採決の結果、賛成多数をもって原案可決

#### 議案第56号、第59号、第60号

賛成討論がなされ採決の結果、全会一致をもって原案可決

#### 審査の過程で出た主な意見

「新型コロナウイルス感染症対策のためには、ワクチンの接種率が低い年代への対策が必要と考えるので、接種率向上に対する積極的な対策を図っていただきたい。また、感染拡大防止の立場からPCR検査を積極的に図っていただきたい」

### 産業建設委員会審査概要

定例会において産業建設委員会に付託されました議案3件及び請願1件について、その審査の経過と結果をご報告申し上げます。

#### 採決結果

全て全会一致で原案可決(請願については採択)

#### 審査の過程で出た主な意見

「農畜産物バリエーションアップ推進協議会に対する補助金について、学生達にぜひとも『ふるさと』の味を届けていただき、西都の良さを味わってもらい、故郷への思いを馳せていただきたい。該当する方へ十分な周知をしていただき、予算の活用を図っていただきたい」



審査の過程で行った現地調査  
(説明を受ける委員)

## 請願 審査結果

「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める  
請願

請願者 宮崎県農民組合

連合会

会長 有田 辰二

審査結果 採択



■第4回定例会(6月6日~23日)で審議された議案の概要と結果

予算関係

| 番号   | 議案名・概要  | 審議結果 |      |
|------|---|------|------|
| 第55号 | 令和4年度西都市一般会計予算補正(第3号)について<br>(低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業費として、民生費に1億275万6千円を増額補正しようとするもの) | 原案可決 | 全会一致 |
| 第56号 | 令和4年度西都市一般会計予算補正(第4号)について<br>(民生費、農林水産業費など、総額1億5,653万3千円を増額補正しようとするもの)                        | 原案可決 | 全会一致 |
| 第57号 | 令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第1号)について<br>(国民健康保険税の賦課額決定などに伴い、総額2,637万円を増額補正しようとするもの)              | 原案可決 | 賛成多数 |
| 第60号 | 令和4年度西都市一般会計予算補正(第5号)について<br>(民生費、衛生費など総額7,427万7千円を増額補正しようとするもの)                              | 原案可決 | 全会一致 |

その他

| 番号   | 議案名・概要   | 審議結果 |      |
|------|--|------|------|
| 第54号 | 教育委員会委員の任命について<br>高橋 博昭 氏 (再任)                                     | 同意   | 全会一致 |
| 第58号 | 令和3年度西都市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について<br>(未処分利益剰余金の処分について、議会の議決を求めようとするもの) | 原案可決 | 全会一致 |
| 第59号 | 財産の処分について<br>(旧杉安保育所の土地及び建物並びに工作物を処分しようとするもの)                      | 原案可決 | 全会一致 |

議員提出議案

| 番号  | 議案名   | 審議結果 |      |
|-----|---|------|------|
| 第6号 | 水田活用の直接支払交付金見直しについて柔軟な対応を求めるとともに、生産者の実情を踏まえた必要な支援を求める意見書の提出について | 原案可決 | 全会一致 |

賛否の分かれた議案等の表決一覧

| 番号   | 件名                                | 議員名(左から議席番号順) |     |      |      |      |     |       |      |      |      |      | 審議結果 |     |      |      |      |      |
|------|-----------------------------------|---------------|-----|------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|
|      |                                   | 太田寛文          | 森祐子 | 吉岐秀光 | 浦田明子 | 村上修乘 | 米良弥 | 橋口登志郎 | 田爪淑子 | 荒川敏満 | 黒木吉彦 | 中武邦美 |      | 井上司 | 井上久昭 | 狩野保夫 | 岩切一夫 |      |
| 第57号 | 令和4年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第1号)について |               | ○   | ○    | ○    | ○    | ○   | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ●    | ○    | 原案可決 |

↑ 議長のため表決に参加しない

○：賛成 ●：反対

全国市議会議長会

永年勤続表彰

このほど、井上司議員が20年の議員永年勤続の功勞により、全国市議会議長会から表彰されました。



井上司議員

平成14年4月に初当選以来、6期連続の当選。議長、副議長、議会運営委員長、文教厚生委員長、産業建設委員長、新原基地対策調査特別委員長などを歴任。

議会Q&A

議会の仕組みを理解してもらうため、Q&Aを始めました。  
 毎号少しずつ取り上げていきますので楽しみにしてください。

Q 市議会って何をするとところですか？

A 市議会には、議決権、調査権、監査請求権など権限が与えられています。それは市民の代表として十分な活動をするための権限です。その権限をもとに主に次のような仕事をしています。

- ・市の決まり(条例)を決めたり、改めたりします。
- ・市のお金(予算)をどのように使うかを決めます。
- ・市のお金(予算)が正しく使われているか、市の仕事が正しく行われているかを調べます。
- ・国や宮崎県などに意見を出します。

Q 市議会に要望したいのですが、どういう方法がありますか？

A 請願と陳情があります。  
 請願は議員を通じて意見要望を言う事です。陳情は議員を通じなくて直接意見を言う事です。

Q 市民と市議会と市長の関係はどういうものですか？

A 市役所は、市民の生活のために大切な仕事(市政)をしています。その市政には、市民の意見が十分反映されなければなりません。そこで、市議会は、市政の進め方を決めたり、市政が正しく行われているかを確認める仕事をしており、「議決機関」と言います。また、市長は、市議会で決まったことを実際に推進していくため、「執行機関」と言います。  
 市議会と市長は互いに独立した立場から、協力し合い、市政の発展を実現するために努めています。

Q よく二元代表制という言葉を見かけます、二元代表制って何ですか？

A 市議会議員と市長の両方を市民が直接選挙で選ぶ制度の事です。したがって議会も市長もともに市民を代表することによって、緊張関係を保ちながら対等な機関として存在します。市長の提案を議会は議論し決定(議決)し、その執行を監視し、積極的な政策提案を通して政策形成の舞台となる事が本来の姿です。

可決された  
意見書

水田活用の直接支払交付金見直しについて柔軟な対応を求めるとともに、生産者の実情を踏まえた必要な支援を求める意見書

(提出先)

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・経済産業大臣・農林水産大臣

意見書全文はこちら↓



訂正

前号(108号)で議会構成を掲載しましたが、一部誤りがありました。正しくは左記のとおりです。お詫びして訂正します。

西都児湯環境整備

事務組合議会議員

太田 寛文  
米良 弥

一ツ瀬川営農飲雑用水

広域水道企業団議員

太田 寛文

編集後記

改選後初めての6月定例会が開会され、無事閉会を迎えることができました。

今回は、一般質問者中2名の新人議員が質問し、新たな発想が生まれました。

また、新型コロナウイルス対策をしっかりととりながら、なるだけ傍聴席にも多くの方々に足を運んでいただく取り組みをおこないました。

ですがしかし、まだまだ油断してはなりません。何事にも油断した先に事は起こるものです。

「転ばぬ先の杖」

万が一に備えて十分な対策(杖)を心掛けて参りましょう。

— 議会報編集委員会 —

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 橋口 登志郎  |
| 副委員長 | 村上 修 乘  |
| 委員   | 森 祐 子   |
| 〃    | 壱 岐 秀 光 |
| 〃    | 浦 田 明 子 |
| 〃    | 荒 川 敏 満 |
| 〃    | 黒 木 吉 彦 |
| 〃    | 狩 野 保 夫 |